

## 「地球温暖化抑制への取り組みは待ったなし」 オゾン層保護と地球温暖化防止に 向けたイベントを開催

(一社)山梨県冷凍空調設備保安協会(有井正司理事長 会員29名)と山梨県冷凍空調設備事業協同組合(山下喜幸理事長 組合員30名)は、2月24日に笛吹市スコレーセンターで、「美しい地球を未来の子どもたちにinやまなし～オゾン層保護・地球温暖化防



「甲州戦記サクライザー」と  
クイズ大会も行われた

止に向けて」と題した基調講演とパネルディスカッション、クイズ大会などを開催した。

この事業

は、業界内だけではなく広く県民に対しオゾン層保護・地球温暖化防止に向けた活動への理解と協力を得ることを目的として2010年より実施、今回で8回目となる。

パネルディスカッションでは、オゾン層を破壊するフロン削減が進んでいる一方で、CO<sub>2</sub>の数百倍から数千倍の温室効果をもたらす代替フロンの排出量が2001年以降急増、フロン類の製造から廃棄まで包括した対策を行う「フロン排出抑制法」が平成27年4月より施行されたが業務用冷凍空調機器を使っているユーザーの認知度は今一つで、冷凍空調設備の設置や管理を行う事業者による更なる周知・徹底が重要であるとされた。

また、未来を担う子供たちにも地球温暖化抑制の取り組みを理解してもらうため、甲州戦記サクライザーとのクイズ大会も実施され、笛吹地域を中心に

- 一般社団法人山梨県冷凍空調設備保安協会
- 山梨県冷凍空調設備事業協同組合



フロン排出抑制の課題などが議論された  
パネルディスカッション

多くの子供達と保護者が参加した。

「地球温暖化抑制への取り組みは全人類の課題。フロン排出抑制法で認定された業務用機器のフロン類の充填・回収事業者として、協同組合や協会会員・組合員が一丸となって、法律の周知、環境保全の啓蒙、対象機器の定期点検の推進を今後も図って行きたい。」と有井理事長は語っている。